

むかわ町
第 2 次まちづくり計画改訂業務

町民等意向調査報告書

令和 7 年 3 月

むかわ町

受託：株式会社ドーコン

目次

第 1 章 調査概要	1
1 – 1. 調査の目的	1
1 – 2. 調査対象	1
1 – 3. 調査方法	1
1 – 4. 調査期間	1
1 – 5. 回収状況	1
1 – 6. アンケート調査票	3
第 2 章 アンケート調査の結果	11
2 – 1. 回答者属性	11
2 – 2. むかわ町での暮らしを評価	17
2 – 3. むかわ町の公共交通を評価	24
2 – 4. むかわ町教育・子育ての評価	29
2 – 5. むかわ町のまちづくりについて	33

第1章 調査概要

1－1．調査の目的

2次むかわ町まちづくり計画（2021～2030年度）の中間見直しを行うにあたって、町民の皆さんのまちづくりに対する考えをうかがい、計画に反映するための基礎資料とするため、本調査を実施しました。

1－2．調査対象

・むかわ町在住の15歳以上の町民のうち、無作為に抽出した1,050人の町民

1－3．調査方法

・郵送による配布、郵送回収またはWeb回答

1－4．調査期間

・令和7年2月10日～令和7年2月28日

1－5．回収状況

・配布数 1,050票

・回収数 314票（郵送回答 228票/Web回答 86票）

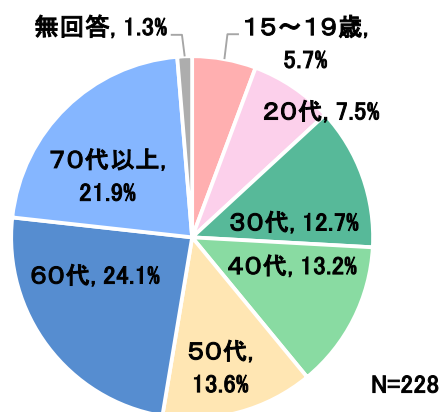
・回収率：29.9%

※参考：郵送回答者および Web 回答者の年齢構成

郵送回答および Web 回答者の年齢構成をみると、郵送回答者は 50 代以上が半分を占めるのに対し、web 回答者は 30 代以下が半分を占める結果となりました。

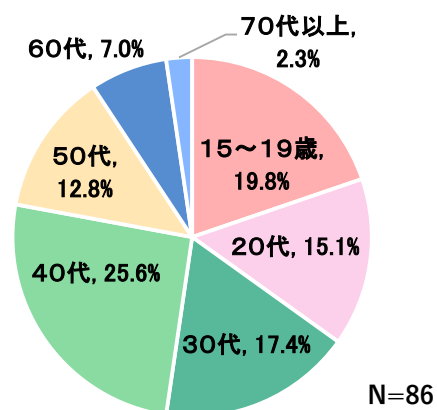
図表 1 郵送回答者の年齢構成

年代	回収数	割合
15～19歳	13	5.7%
20代	17	7.5%
30代	29	12.7%
40代	30	13.2%
50代	31	13.6%
60代	55	24.1%
70代以上	50	21.9%
無回答	3	1.3%
計	228	100.0%



図表 2 Web 回答者の年齢構成

年代	回収数	割合
15～19歳	17	19.8%
20代	13	15.1%
30代	15	17.4%
40代	22	25.6%
50代	11	12.8%
60代	6	7.0%
70代以上	2	2.3%
無回答	0	0.0%
計	86	100.0%



むかわ町まちづくりアンケート

○むかわ町では現在、**第2次むかわ町まちづくり計画（2021～2030年度）**の中間見直しを行っています。この計画は、**私たちの暮らすまちをどんな風に良くしていくか、暮らしやすくしていくか**について方針を決める大切な計画です。

○計画の見直しにあたって、**町民のみなさんのまちづくりに対する考え**を反映していくため、アンケート調査を実施することとしました。

<調査について>

- ・2025年1月現在、むかわ町に住民票のある方のうち無作為に約1,000人を抽出して、アンケートを送付しています。
- ・宛名のご本人が回答できない場合は、ご家族が回答くださっても構いません。ご家族も回答が難しい場合には、本アンケートは破棄してください。
- ・右のQRコードからWEBでも回答できます。
- ・ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵送してください。
- ・提出〆切は**2025年2月28日（金）**です。
- ・お答えいただいた内容は、調査目的以外で使用することはありません。
- ・ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。



むかわ町役場 総合政策課 企画調整グループ 担当：澤田、伊東

〒054-8660 むかわ町美幸2丁目88

TEL 0145-42-2469（課直通）

FAX 0145-42-2711

お忙しいところ恐縮ですが、
調査の趣旨をご理解いただき、
**みなさんのご意見を
ぜひお聞かせください！**



むかわ町公認キャラクター むかろん

むかわ町まちづくりアンケート調査票

1 回答する方について教えてください。

問1 あなたの性別・年齢（あてはまるもの1つに○）

①性 別	1 男性	2 女性	3 無回答
②年 齢	1 15～19 歳	2 20～29 歳	3 30～39 歳
	4 40～49 歳	5 50～59 歳	6 60～69 歳
	7 70 歳以上		

問2 あなたと一緒に住んでいる家族の構成（あてはまるもの1つに○）

①家族構成	1 夫婦（子どもはいない）	2 親子（2世代）	3 親・子・孫（3世代）
	4 単身（あなた1人）	5 その他（ ）	
②65 歳以上の家族の有無（回答者含む）	1 いる 2 いらない		
③18 歳以下の家族の有無（回答者含む）	1 いる 2 いらない		

問3 あなたのご職業※（あてはまるもの1つに○）※複数ある場合は主たるもの

1 農業	2 林業	3 漁業
4 商工自営業	5 医療・福祉職員	6 会社員
7 パート・アルバイト	8 団体職員	9 公務員（教員も含む）
10 家事（内職も含む）	11 学生	12 休職・求職中
13 無職	14 その他（ ）	

問4 あなたの通勤・通学先※（あてはまるもの1つに○）※複数ある場合は主たるもの

1 町内	2 町外（市町村名： ）	3 該当なし
------	--------------	--------

問5 あなたのお住まいの形態（あてはまるもの1つに○）

1 持ち家	2 借家（戸建、マンション・アパートなど）	
3 公営住宅	4 官舎・社宅	5 その他（ ）

問6 あなたの居住地（あてはまるもの1つに○）

1 鶴川地区の市街地（福住・青葉・大原・花園・末広・大成・文京・美幸・松風・洋光・若草・駒場・晴海）
2 鶴川地区の市街地外（1以外の鶴川地区）
3 穂別地区の市街地（双葉・明穂・共和・緑ヶ丘・柏）
4 穂別地区の市街地外（3以外の穂別地区）

問7 むかわ町の居住経緯（1つに○）

1 生まれた時から住んでいる
2 むかわ町出身で戻ってきた ⇒（ ）年前
3 町外から転居してきた ⇒（ ）年前

図表 4 一般用アンケート票（2/8 ページ）

問9 あなたはむかわ町での暮らしについて、どの程度満足していますか？（あてはまるもの1つに○）

①買い物の利便性	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかという不満	4 とても不満	5 わからない
②飲食店などのお店	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかという不満	4 とても不満	5 わからない
③医療や福祉施設の充実度	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかという不満	4 とても不満	5 わからない
④子育て環境	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかという不満	4 とても不満	5 わからない
⑤小・中・高校の教育環境	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかという不満	4 とても不満	5 わからない
⑥スポーツ施設	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかという不満	4 とても不満	5 わからない
⑦文化施設	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかという不満	4 とても不満	5 わからない
⑧生涯学習環境	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかという不満	4 とても不満	5 わからない
⑨のびのびできる公園・緑地	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかという不満	4 とても不満	5 わからない
⑩公共交通の利便性	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかという不満	4 とても不満	5 わからない
⑪ゆとりある閑静な居住環境	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかという不満	4 とても不満	5 わからない
⑫ゆたかな自然	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかという不満	4 とても不満	5 わからない
⑬美しいまちなみ	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかという不満	4 とても不満	5 わからない
⑭インフラ整備 （インターネット、道路など）	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかという不満	4 とても不満	5 わからない
⑮災害時の安全性	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかという不満	4 とても不満	5 わからない
⑯治安及び防犯上の安全性	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかという不満	4 とても不満	5 わからない
⑰地域のつながり、仲の良さ	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかという不満	4 とても不満	5 わからない

図表 6 一般用アンケート票（4/8 ページ）

問10 問9を総合して、むかわ町の暮らしにどの程度満足していますか？（あてはまるもの1つに○）

- 1 とても満足
- 2 どちらかといえば満足
- 3 どちらかという不満
- 4 とても不満
- 5 わからない

問11 将来、どこに住みたいですか？（あてはまるもの1つに○、2・3の場合はその理由を記入）

- 1 現在住んでいる地区に住み続けたい
- 2 町内の別の地区に住みたい（具体の希望先がある場合は下記から地区名を選んでください）
 - ↳
 - 1 鶴川地区の市街地（稲住・青葉・大原・花園・末広・大成・文京・美幸・松風・洋光・若草・駒場・晴海）
 - 2 鶴川地区の市街地外（1以外の鶴川地区）
 - 3 穂別地区の市街地（双葉・明穂・共和・緑ヶ丘・柏）
 - 4 穂別地区の市街地外（3以外の穂別地区）
- 3 町外に住みたい
 - ↳ 具体の希望先がある場合は市町村名を記入（ 市・町・村）
- 4 わからない

【別の地区や町外に住みたい理由】

3. むかわ町の交通について教えてください。

問 12 あなたはむかわ町のバス（都市間バス・路線バス）をどれくらいの頻度で利用しますか。
（あてはまるもの 1 つに○）

- | | | |
|-----------|-----------|--------------------|
| 1 週 3 日以上 | 2 週 1 日程度 | |
| 3 月に数回程度 | 4 年に数回程度 | 5 ほとんど利用しない⇒問 14 へ |

問 13 問 12 で 1～4 と答えた方に伺います。バスはどのような目的で利用されていますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|---------|------|-------|
| 1 通勤・通学 | 2 通院 | 3 買い物 |
| 4 その他（ | | ） |

問 14 バスを利用して不便・不満に感じること、あるいはバスを利用しない理由を教えてください。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1 運行本数が少ない | 2 自宅からバス停が遠い |
| 3 所要時間が長くなる | 4 行きたい目的地を通らない |
| 5 料金が安い | 6 バス同士の乗り継ぎや JR との乗り継ぎが不便 |
| 7 運行時刻（時刻表）が分かりにくい | 8 バスの遅れや運行情報が分かりにくい |
| 9 利用方法が分かりにくい | 10 バリアフリー化が進んでいない |
| 11 ICカードや電子マネーが使えない | 12 バス待ち環境が整備されていない |
| 13 その他（ | ） |
| 14 不便・不満に感じることはない | |

問 15 どのような取組や改善が行われると、むかわ町の公共交通を利用したくなりますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1 バス路線の行先を改善する→設定してほしい行先（ | ） |
| 2 JR や高速バスとの乗継を考慮したバス運行ダイヤとする | |
| 3 公共施設や店舗など屋内でバスを待てる環境を整備する | |
| 4 運行ルートや時刻表など運行情報をわかりやすく発信する | |
| 5 商店や観光施設と連携したクーポン券など、お得な乗車券を発売する | |
| 6 運転免許返納後は、料金が割引されるようにする | |
| 7 デマンドバスの運行エリアを拡大する | |
| 8 乗合タクシーを導入する | |
| 9 その他（ | ） |
| 10 利便性が向上しても公共交通を利用することはない | |

問 16 利用者の減少や乗務員不足等により、公共交通サービスを持続することがいっそう難しくなると考えられます。そこで、「むかわ町の公共交通」に対するあなたのお考えに近いものを選んでください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|---|
| 1 地域の公的負担は現状のままもしくは増やしてでも、現在と同様の公共サービスを維持していくべき | |
| 2 地域の公的負担を増やしてでも、地域の公共交通をもっと充実すべき | |
| 3 公共交通に地域の公的負担を使うのはできるだけ抑えて、必要最小限のサービスに抑えるべき | |
| 4 町民一人一人がもっと公共応通を利用するよう心がけるべき | |
| 5 地域の公共交通の維持・充実や利用促進に町民も積極的に関わるべき | |
| 6 わからない | |
| 7 その他（ | ） |

4. むかわ町の教育・子育てについて教えてください。

問 17 むかわ町の学校教育において特に重要だと思うことは何ですか。
(3つまで選んで○)

- 1 校舎・教室がきれいで整備されている
- 2 図書室や体育館等の付帯施設が充実している
- 3 学校までの交通手段や安全な通学路が確保されており、安心安全に通学できる
- 4 ICT 技術を活用した授業が実施されている
- 5 恐竜の歴史や農業・漁業体験等、むかわの地域特性を活かした学びが充実している
- 6 少人数でのクラス分けなど教育体制が充実している
- 7 多様な分野を学べるコースやカリキュラムが充実している
- 8 部活動や課外活動等の勉強以外の学校活動が充実している
- 9 公営塾の設置など放課後学習の環境が充実している
- 10 地域外からの留学生の受け入れ等、他地域との積極的な交流が実施される
- 11 小中一貫義務教育学校の整備等、新たな学校教育の形を取り入れる
- 12 わからない
- 13 その他 ()

問 18 子供を育てていく上で特に重要だと思う生活環境について教えてください。
(3つまで選んで○)

- 1 子どもが安心して遊べる公園や緑地が整備されている
- 2 防犯など安全性が確保されている
- 3 冬でも遊べる室内の遊び場が整備されている
- 4 保育所や幼稚園が整備されている
- 5 夜間や休日に診察してもらえる医療機関が充実している
- 6 共同保育や近所の人による子育て協力等、地域における子育ての支援が充実している
- 7 子育てに関する知識・情報などの提供や、相談援助体制が充実している
- 8 学校給食の無償化・高校の学費の無償化など保護者の経済負担軽減策が充実している
- 9 子育て世帯が入居しやすい住宅が整備されている
- 10 わからない
- 11 その他 ()

問 19 現在 18 歳以下のお子さんがある方に伺います。

子育てで不安・不満に感じている点をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 子育て・教育にお金がかかること
- 2 家計の収入が不安定であること
- 3 心や体力的な負担が多いこと
- 4 頼れる家族や親せき等、子供の預け先や相談先が近くにないこと
- 5 子育てについての情報を得られないこと
- 6 町の子育て支援策が不十分であること
- 7 特にない
- 8 その他 ()

5. むかわ町のまちづくりについて

問 20 まちづくりに関するご意見があれば記入してください。(自由記述)



質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

第2章 アンケート調査の結果

2 - 1. 回答者属性

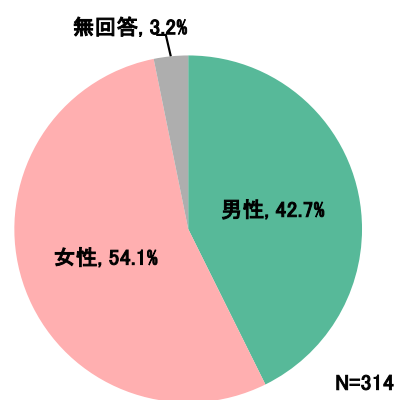
(1) 性別・年齢

① 性別

回答者の性別は、「女性」が 54.1%、「男性」が 42.7%と、「女性」の割合が高くなっています。

図表 11 性別

設 問	回答数	割合
男性	134	42.7%
女性	170	54.1%
無回答	10	3.2%
計	314	100.0%

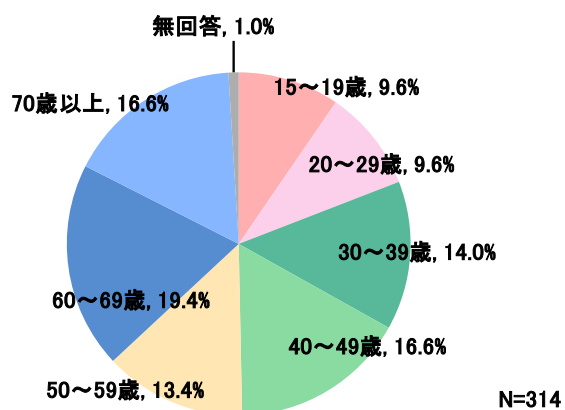


② 年齢

回答者の年齢は、年齢構成比「60～69 歳」が 19.4%と最も多く、次いで「40～49 歳」と「70 歳以上」が 16.6%、「30～39 歳」が 14.0%となっています。

図表 12 年齢

設 問	回答数	割合
15～19 歳	30	9.6%
20～29 歳	30	9.6%
30～39 歳	44	14.0%
40～49 歳	52	16.6%
50～59 歳	42	13.4%
60～69 歳	61	19.4%
70 歳以上	52	16.6%
無回答	3	1.0%
計	314	100.0%



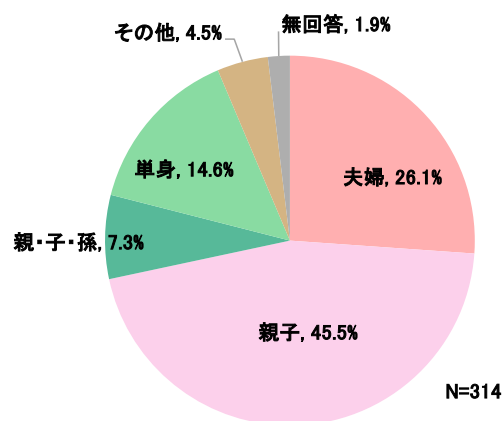
(2) 家族構成

① 家族構成（一般のみの回答）

家族構成は、「親子」が 45.5%と最も多く、次いで「夫婦」が 26.1%、「単身」が 14.6%となっています。

図表 13 家族構成

設 問	回答数	割合
夫婦	82	26.1%
親子	143	45.5%
親・子・孫	23	7.3%
単身	46	14.6%
その他	14	4.5%
無回答	6	1.9%
計	314	100.0%

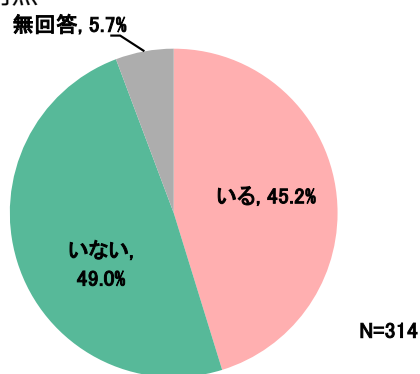


② 65歳以上の家族の有無

65歳以上の家族の有無は、「いない」が 49.0%で「いる」が 45.2%となっています。

図表 14 65歳以上の家族の有無

設 問	回答数	割合
いる	142	45.2%
いない	154	49.0%
無回答	18	5.7%
計	314	100.0%

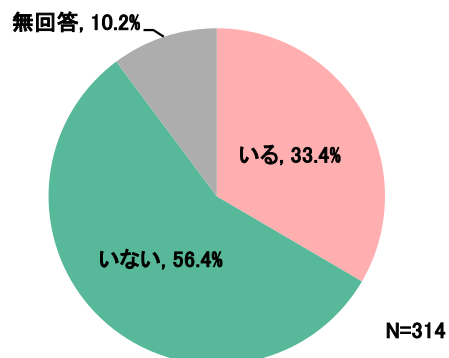


③ 18歳以下の家族の有無

18歳以下の家族の有無は、「いない」が 56.4%で「いる」が 33.4%となっています。

図表 15 18歳以下の家族の有無

設 問	回答数	割合
いる	105	33.4%
いない	177	56.4%
無回答	32	10.2%
計	314	100.0%

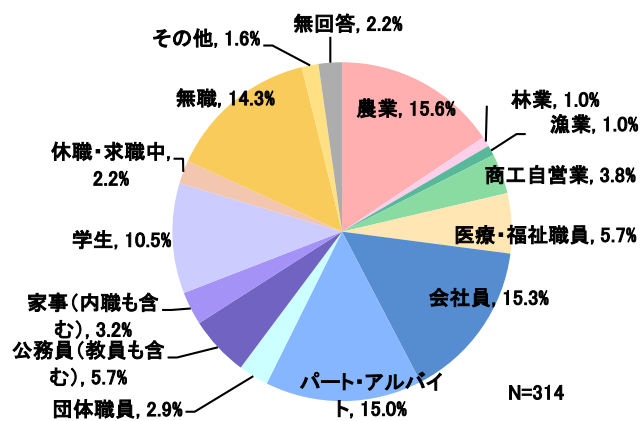


(3) 職業

回答者の職業についてみると、「農業」が 15.6%と最も多く、次いで「会社員」が 15.3%、「パート・アルバイト」が 15.0%となっています。

図表 16 職業

設 問	回答数	割合
農業	49	15.6%
林業	3	1.0%
漁業	3	1.0%
商工自営業	12	3.8%
医療・福祉職員	18	5.7%
会社員	48	15.3%
パート・アルバイト	47	15.0%
団体職員	9	2.9%
公務員（教員も含む）	18	5.7%
家事（内職も含む）	10	3.2%
学生	33	10.5%
休職・求職中	7	2.2%
無職	45	14.3%
その他	5	1.6%
無回答	7	2.2%
計	314	100.0%



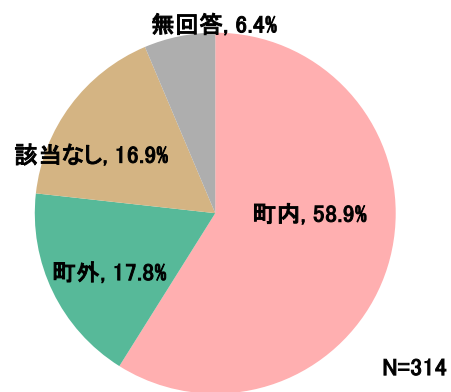
※その他は、建設業、就労支援施設など

(4) 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先についてみると、「町内」が 58.9%、「町外」が 17.8%となっています。

図表 17 通勤・通学先

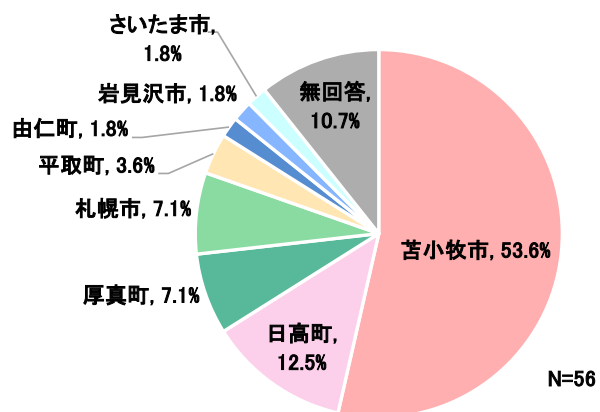
設 問	回答数	割合
町内	185	58.9%
町外	56	17.8%
該当なし	53	16.9%
無回答	20	6.4%
計	314	100.0%



【町外通勤先】

図表 18 町外の通勤・通学先

行先	回答数	割合
苫小牧市	30	53.6%
日高町	7	12.5%
厚真町	4	7.1%
札幌市	4	7.1%
平取町	2	3.6%
由仁町	1	1.8%
岩見沢市	1	1.8%
さいたま市	1	1.8%
無回答	6	10.7%
計	56	100.0%



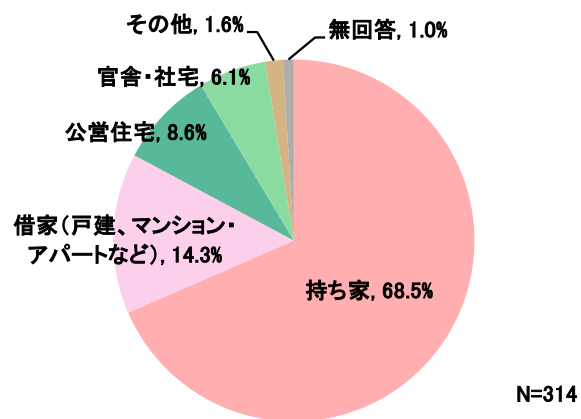
(5) 住宅の形態

回答者の住宅の形態をみると、「持ち家」が68.5%と最も多く、次いで「借家（戸建、マンション・アパートなど）」14.3%、「公営住宅」8.6%となっています。

図表 19 住宅の形態

設 問	回答数	割合
持ち家	215	68.5%
借家（戸建、マンション・アパートなど）	45	14.3%
公営住宅	27	8.6%
官舎・社宅	19	6.1%
その他※	5	1.6%
無回答	3	1.0%
計	314	100.0%

※その他は、寮・学生宿舎など

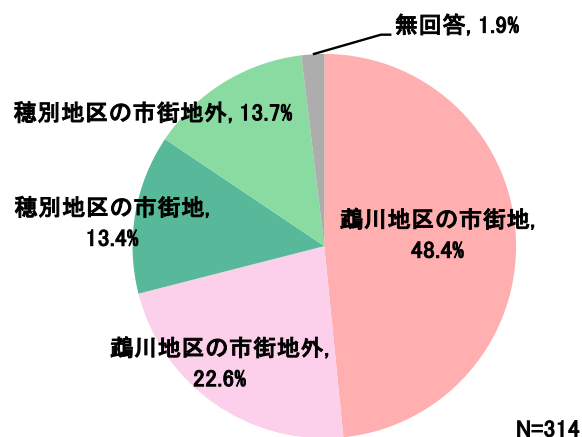


(6) 居住地

回答者の居住地は、「鶴川地区の市街地」が48.4%と最も多く、次いで「鶴川地区の市街地外」22.6%、「穂別地区の市街地外」13.7%となっています。

図表 20 居住地

設 問	回答数	割合
鶴川地区の市街地	152	48.4%
鶴川地区の市街地外	71	22.6%
穂別地区の市街地	42	13.4%
穂別地区の市街地外	43	13.7%
無回答	6	1.9%
計	314	100.0%



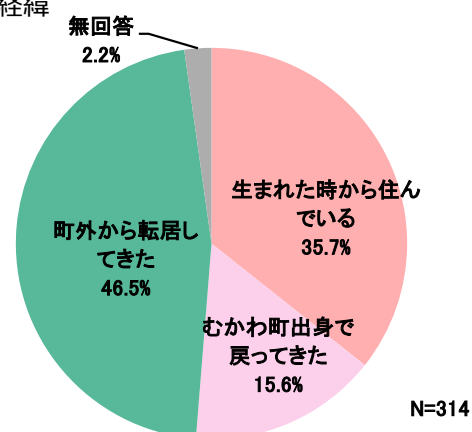
(7) 居住経緯

回答者の居住経緯は、「町外から転居してきた」が46.5%と最も多く、次いで「生まれた時から住んでいる」35.7%、「むかわ町出身で戻ってきた」15.6%となっています。

「むかわ町出身で戻ってきた」を選択した回答者は「30年以上前」に戻ってきた人が、「町外から転居してきた」を選択した回答者は「10年未満」に転居してきた人の割合が最も多くなっています。

図表 21 居住経緯

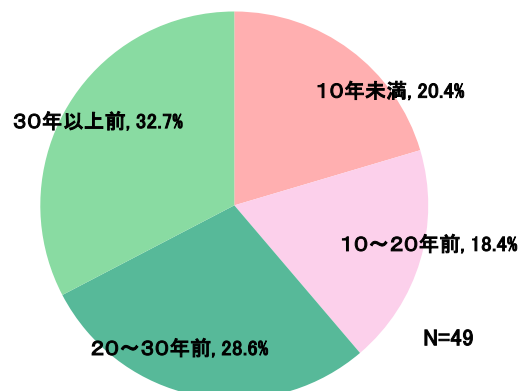
設 問	回答数	割合
生まれた時から住んでいる	112	35.7%
むかわ町出身で戻ってきた	49	15.6%
町外から転居してきた	146	46.5%
無回答	7	2.2%
計	314	100.0%



【むかわ町出身で戻ってきた（○年前）】

図表 22 むかわ町出身で○年前に戻ってきた

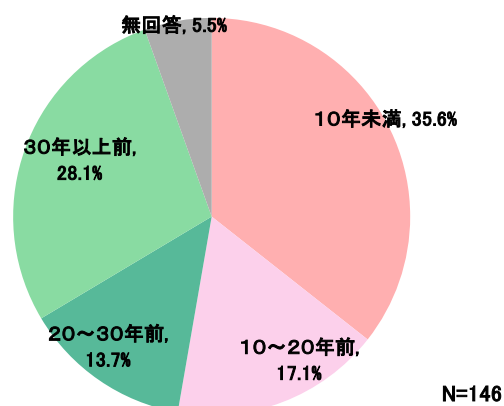
設問	回答数	割合
10年未満	10	20.4%
10～20年前	9	18.4%
20～30年前	14	28.6%
30年以上前	16	32.7%
計	49	100.0%



【町外から転居してきた（○年前）】

図表 23 町外から○年前に転居

設問	回答数	割合
10年未満	52	35.6%
10～20年前	25	17.1%
20～30年前	20	13.7%
30年以上前	41	28.1%
無回答	8	5.5%
計	146	100.0%



2-2. むかわ町での暮らしを評価

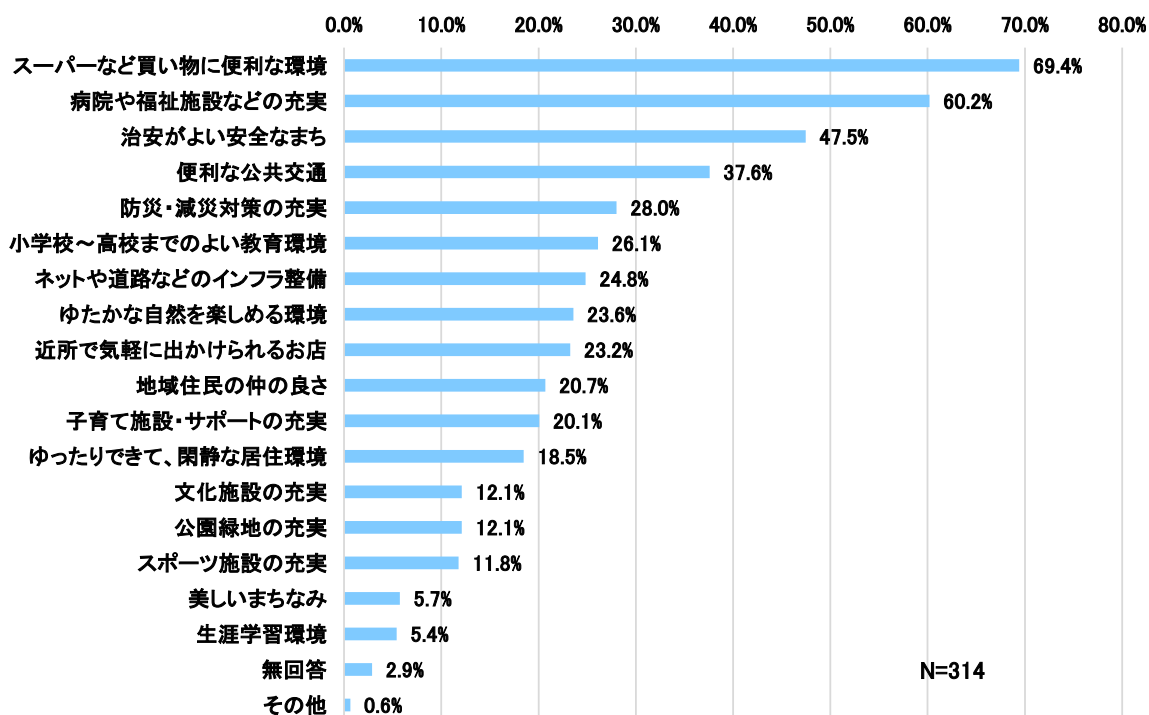
(1) 暮らす環境の重要項目（5つまで複数回答可）

環境の重要項目については、「スーパーなど買い物に便利な環境」が69.4%と最も多く、次いで「病院や福祉施設などの充実」が60.2%、「治安がよい安全なまち」が47.5%となっています。

図表 24 暮らす環境の重要項目

設 問	回答数	選択率
スーパーなど買い物に便利な環境	218	69.4%
病院や福祉施設などの充実	189	60.2%
治安がよい安全なまち	149	47.5%
便利な公共交通	118	37.6%
防災・減災対策の充実	88	28.0%
小学校～高校までのよい教育環境	82	26.1%
ネットや道路などのインフラ整備	78	24.8%
ゆたかな自然を楽しめる環境	74	23.6%
近所で気軽に出かけられるお店	73	23.2%
地域住民の仲の良さ	65	20.7%
子育て施設・サポートの充実	63	20.1%
ゆったりできて、閑静な居住環境	58	18.5%
文化施設の充実	38	12.1%
公園緑地の充実	38	12.1%
スポーツ施設の充実	37	11.8%
美しいまちなみ	18	5.7%
生涯学習環境	17	5.4%
無回答	9	2.9%
その他※	2	0.6%
サンプル数	314	-

※その他は除雪や全般的な不満に対する回答

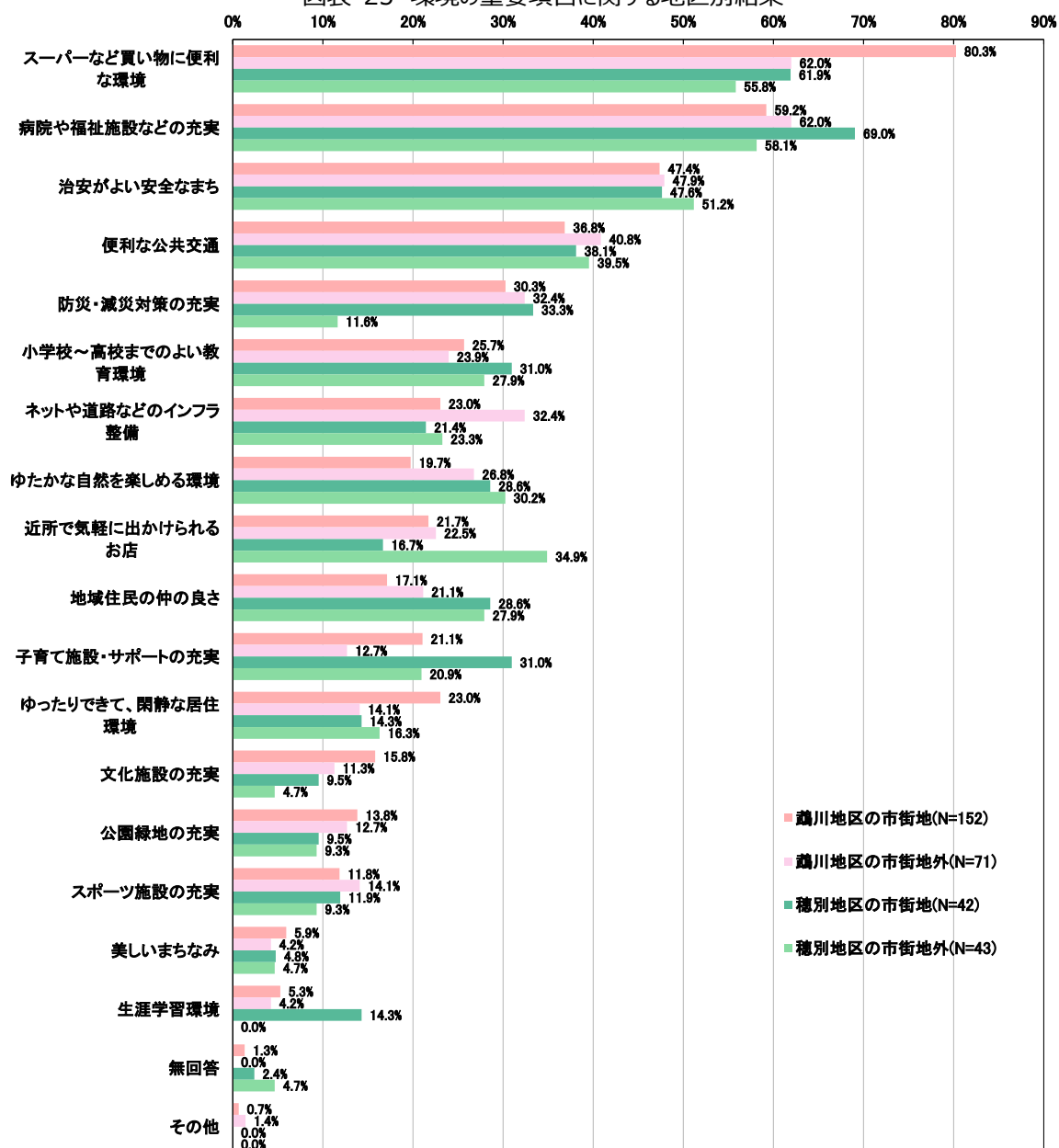


【地区別の「暮らす環境の重要項目」】

暮らす環境の重要項目について、地区別の選択率を見ると、「鶴川地区の市街地」の居住者は「スーパーなど買い物に便利な環境」を選択する人が最も多かった一方、「鶴川地区の市街地外」の居住者は「スーパーなど買い物に便利な環境」に加えて「病院や福祉施設などの充実」を選択する人が最も多く、「穂別地区の市街地」および「穂別地区の市街地外」の居住者は「病院や福祉施設などの充実」を選択する人が最も多い結果となりました。

また、「鶴川地区の市街地」の居住者は「スーパーなど買い物に便利な環境」を、「鶴川地区の市街地外」の居住者は「ネットや道路などのインフラ整備」を、「穂別地区の市街地」の居住者は、「子育て施設・サポートの充実」および「生涯学習環境」を、「穂別地区の市街地外」の居住者は、「近所で気軽に出かけられるお店」を、それぞれ他地域に比べてより多く選択していました。

図表 25 環境の重要項目に関する地区別結果



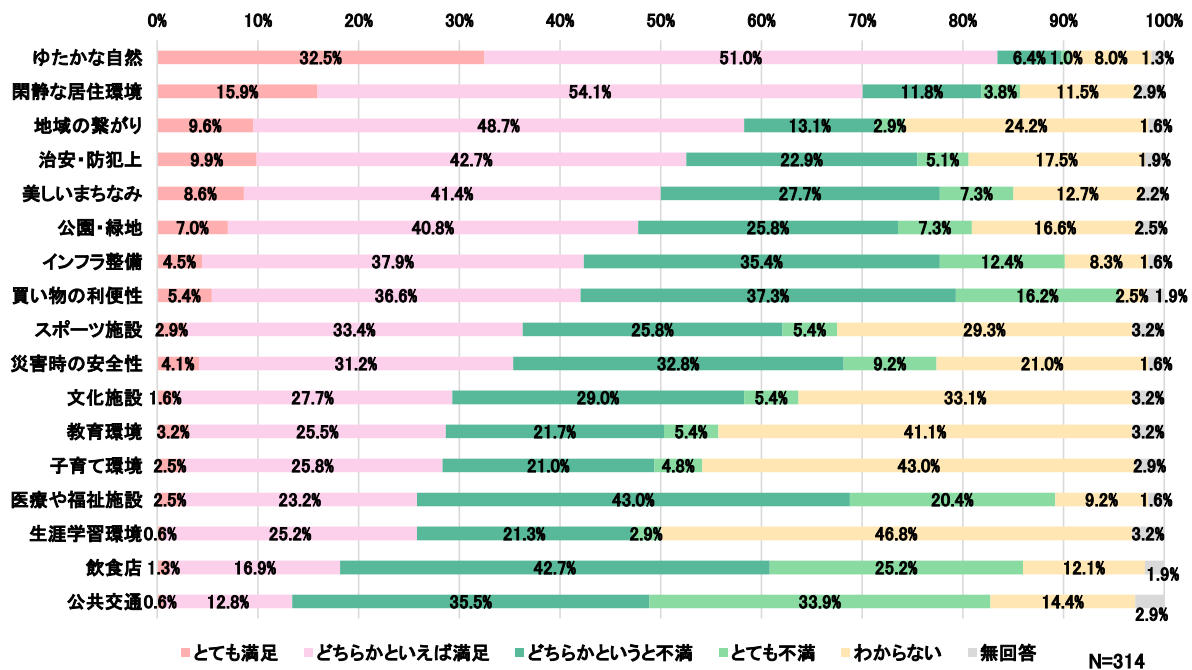
(2) 暮らしの満足度

満足度の高い項目（「とても満足」、「どちらかといえば満足」の合計）は、「ゆたかな自然」が83.4%、次いで「閑静な居住環境」が70.1%、「地域の繋がり」が58.3%となっています。

図表 26 暮らしの満足度

設 問		買い物の 利便性	飲食店	医療や 福祉 施設	子育て 環境	教育 環境	スポーツ 施設	文化 施設	生涯学習 環境	公園・ 緑地
とても 満足	件数	17	4	8	8	10	9	5	2	22
	割合	5.4%	1.3%	2.5%	2.5%	3.2%	2.9%	1.6%	0.6%	7.0%
どちらか といえば 満足	件数	115	53	73	81	80	105	87	79	128
	割合	36.6%	16.9%	23.2%	25.8%	25.5%	33.4%	27.7%	25.2%	40.8%
どちらか というと 不満	件数	117	134	135	66	68	81	91	67	81
	割合	37.3%	42.7%	43.0%	21.0%	21.7%	25.8%	29.0%	21.3%	25.8%
とても 不満	件数	51	79	64	15	17	17	17	9	23
	割合	16.2%	25.2%	20.4%	4.8%	5.4%	5.4%	5.4%	2.9%	7.3%
わからな い	件数	8	38	29	135	129	92	104	147	52
	割合	2.5%	12.1%	9.2%	43.0%	41.1%	29.3%	33.1%	46.8%	16.6%
無回答	件数	6	6	5	9	10	10	10	10	8
	割合	1.9%	1.9%	1.6%	2.9%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	2.5%
計	件数	314	314	314	314	314	314	314	314	314
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

設 問		公共交通	閑静な 居住環境	ゆたかな 自然	美しい まちなみ	インフラ 整備	災害時の 安全性	治安・ 防犯上	地域の 繋がり
とても 満足	件数	2	50	102	27	14	13	31	30
	割合	0.6%	15.9%	32.5%	8.6%	4.5%	4.1%	9.9%	9.6%
どちらか といえば 満足	件数	40	170	160	130	119	98	134	153
	割合	12.8%	54.1%	51.0%	41.4%	37.9%	31.2%	42.7%	48.7%
どちらか というと 不満	件数	111	37	20	87	111	103	72	41
	割合	35.5%	11.8%	6.4%	27.7%	35.4%	32.8%	22.9%	13.1%
とても 不満	件数	106	12	3	23	39	29	16	9
	割合	33.9%	3.8%	1.0%	7.3%	12.4%	9.2%	5.1%	2.9%
わからな い	件数	45	36	25	40	26	66	55	76
	割合	14.4%	11.5%	8.0%	12.7%	8.3%	21.0%	17.5%	24.2%
無回答	件数	9	9	4	7	5	5	6	5
	割合	2.9%	2.9%	1.3%	2.2%	1.6%	1.6%	1.9%	1.6%
計	件数	313	314	314	314	314	314	314	314
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

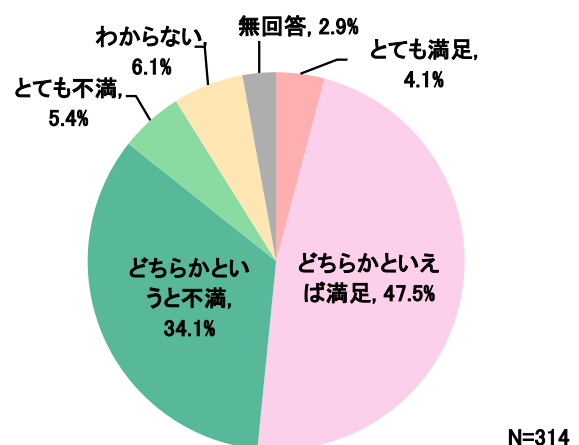


(3) 総合的な暮らしの満足度

総合満足度については、「どちらかといえば満足」が 47.5%と最も多く、次いで「どちらかという不満」が 34.1%、「わからない」が 6.1%となっています。

図表 27 総合的な暮らしの満足度

設 問	回答数	割合
とても満足	13	4.1%
どちらかといえば満足	149	47.5%
どちらかという不満	107	34.1%
とても不満	17	5.4%
わからない	19	6.1%
無回答	9	2.9%
計	314	100.0%



(4) 将来の希望居住先

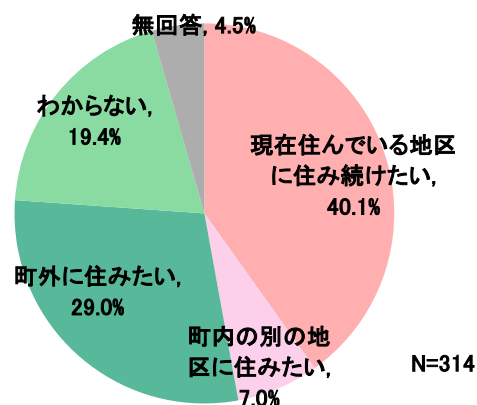
将来の希望居住先については、「現在住んでいる地区に住み続けたい」が 40.1%と最も多く、次いで「町外に住みたい」29.0%、「わからない」19.4%となっています。

「町内の別の地区に住みたい」を選択した回答者の希望の地区については、「鶴川地区の市街地」が 68.2%と最も多く、次いで「鶴川地区の市街地外」18.2%となっています。

「町外の別の地区に住みたい」を選択した回答者の具体の希望先については、札幌市が最も多く、次いで苫小牧市となっています。

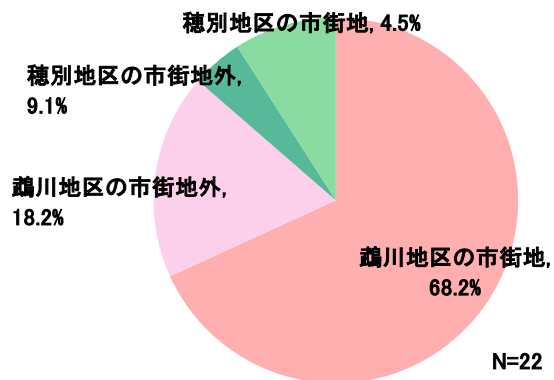
図表 28 将来の希望居住地

設 問	回答数	割合
現在住んでいる地区に住み続けたい	126	40.1%
町内の別の地区に住みたい	22	7.0%
町外に住みたい	91	29.0%
わからない	61	19.4%
無回答	14	4.5%
計	314	100.0%



図表 29 将来の希望居住地【町内の別の地区】

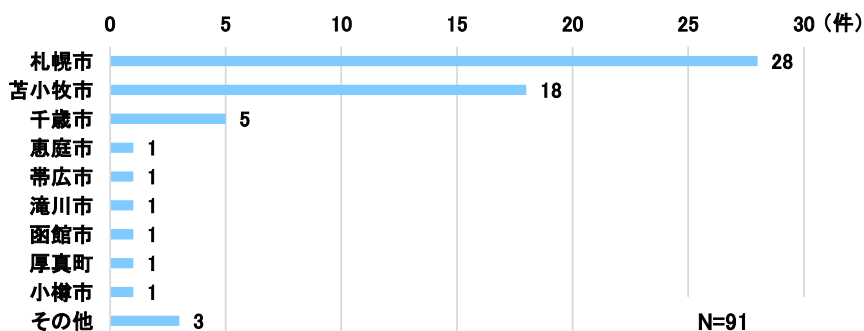
設 問	回答数	割合
鶴川地区の市街地	15	68.2%
鶴川地区の市街地外	4	18.2%
穂別地区の市街地	1	4.5%
穂別地区の市街地外	2	9.1%
無回答	0	0.0%
計	22	100.0%



【町外希望先（自由記述のため件数集計）】

図表 30 将来の希望居住地【町外】

回答	件数
札幌市	28
苫小牧市	18
千歳市	5
恵庭市	1
帯広市	1
滝川市	1
函館市	1
厚真町	1
小樽市	1
その他※	3



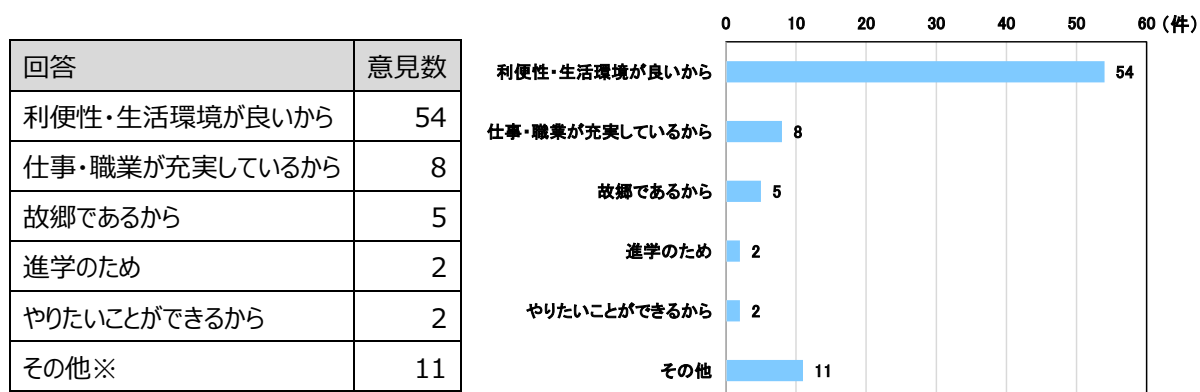
※その他では国外・道外・故郷など

(5) 別の地区や町外に住みたい理由（自由記述）

【町外に住みたい理由】

町外に住みたい理由として、75 件の意見が寄せられました。寄せられた自由意見を分類・集計した結果、「利便性・生活環境が良いから」に関する意見が最も多く 54 件、次いで「仕事充実しているから」が 8 件、「故郷であるから」が 5 件と続きます。

図表 31 町外に住みたい理由

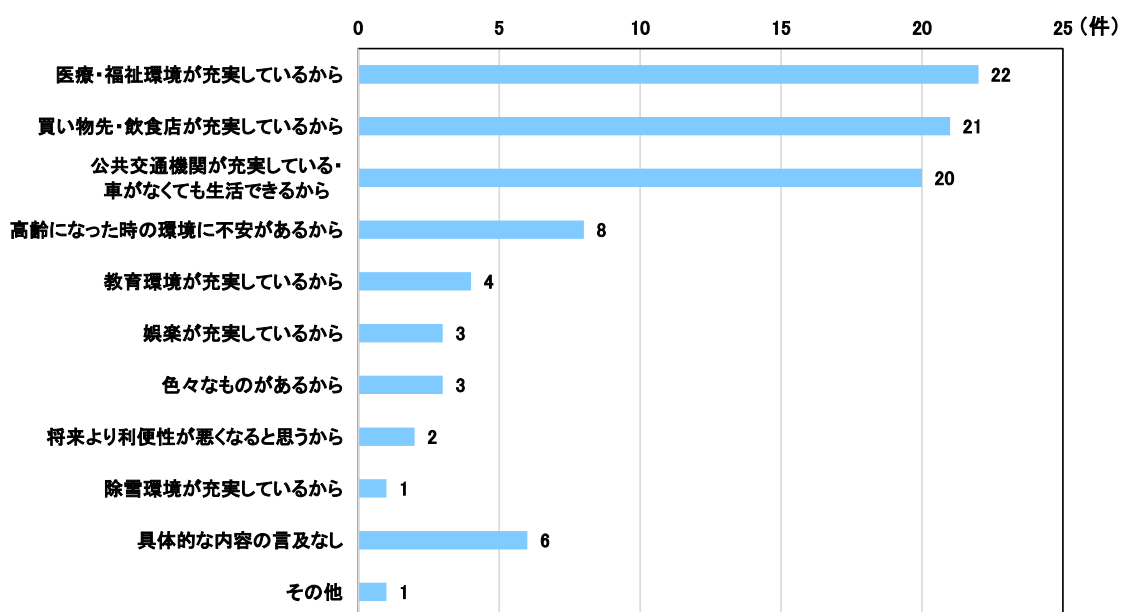


※その他は、今のまちに活気がない、インフラ整備と災害時の安全性が不安、夜道も安心であるといった意見

多くの意見が寄せられた「利便性・生活環境が良いから」に関して、より具体的な分類を行いました。結果、「医療・福祉環境が充実しているから」が最も多く 22 件、「買い物先・飲食店が充実しているから」が 21 件、「車がなくても生活できる環境や公共交通機関が充実しているから」が 20 件と続きます。

図表 32「利便性・生活環境が良いから」に関する具体的な内容

回答	意見数
医療・福祉環境が充実しているから	22
買い物先・飲食店が充実しているから	21
公共交通機関が充実している・車がなくても生活できるから	20
高齢になった時の環境に不安があるから	8
教育環境が充実しているから	4
娯楽が充実しているから	3
色々なものがあるから	3
将来より利便性が悪くなると思うから	2
除雪環境が充実しているから	1
札幌圏に乗り換えなしで行ける地区に住みたいから	1
具体的な内容の言及なし	6



【町内の別の地区に住みたい理由】

鶴川地区の市街地に住みたい理由としては、利便性が良いから（3 件）、職場に近いから、といった意見が寄せられました。また鶴川地区の市街地外に住みたい理由としては、自然が楽しめるから、といった意見が寄せられました。

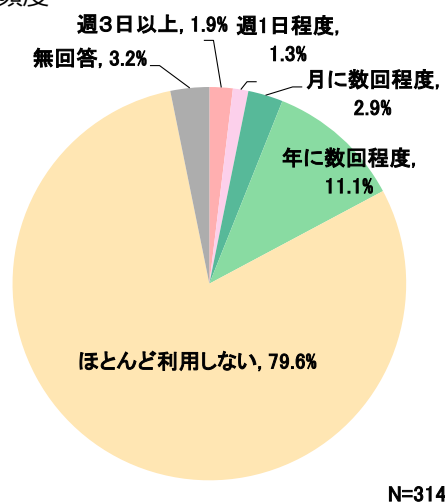
2－3．むかわ町の公共交通を評価

(1) バスの利用頻度

バスの利用頻度としては、「ほとんど利用しない」79.6%、次いで年に数回程度」11.1%となっています。

図表 33 バスの利用頻度

設 問	回答数	割合
週 3 日以上	6	1.9%
週 1 日程度	4	1.3%
月に数回程度	9	2.9%
年に数回程度	35	11.1%
ほとんど利用しない	250	79.6%
無回答	10	3.2%
計	314	100.0%

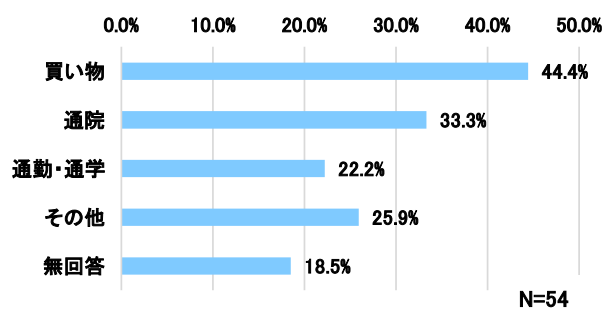


(2) バスの利用目的（複数回答可。（1）で「週3日以上」「週1日程度」「月に数回程度」「年に数回程度」と答えた人のみ回答）

バスの利用目的については、「買い物」が42.6%と最も多く、次いで「通院」33.3%となっています。

図表 34 バスの利用目的

設 問	回答数	選択率
買い物	24	44.4%
通院	18	33.3%
通勤・通学	12	22.2%
その他※	14	25.9%
無回答	10	18.5%
サンプル数	54	—



※その他では、帰省・観光・レジャー・旅行等（8件）、出張など

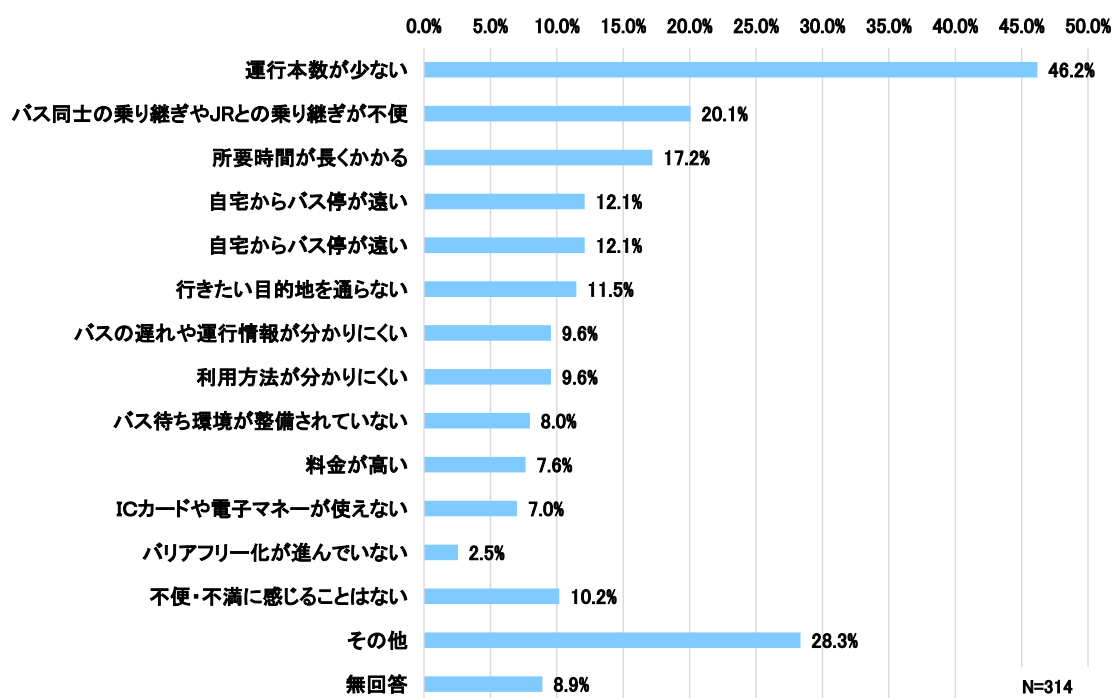
(3) バスを利用して不便・不満に感じることもあるいはバスを利用しない理由（複数回答可）

バスを利用して不便・不満に感じることもあるいはバスを利用しない理由については、「運行本数が少ない」が 46.2%と最も多く、次いで「バス同士の乗り継ぎや JR との乗り継ぎが不便」20.1%、「所要時間が長くなる」17.2%となっています。

図表 35 バスを利用して不便・不満に感じること

設 問	回答数	選択率
運行本数が少ない	145	46.2%
バス同士の乗り継ぎや JR との乗り継ぎが不便	63	20.1%
所要時間が長くなる	54	17.2%
自宅からバス停が遠い	38	12.1%
運行時刻（時刻表）が分かりにくい	38	12.1%
行きたい目的地を通らない	36	11.5%
バスの遅れや運行情報が分かりにくい	30	9.6%
利用方法が分かりにくい	30	9.6%
バス待ち環境が整備されていない	25	8.0%
料金が安い	24	7.6%
I Cカードや電子マネーが使えない	22	7.0%
バリアフリー化が進んでいない	8	2.5%
不便・不満に感じることはない	32	10.2%
その他※	89	28.3%
無回答	28	8.9%
サンプル数	314	—

※その他では、自家用車があるため（75 件）、利用する必要がないため（4 件）、バス酔いするため、電話で予約する必要がある（2 件）、運転手の態度が良くない、身体上の理由からバスを利用できない、といった意見



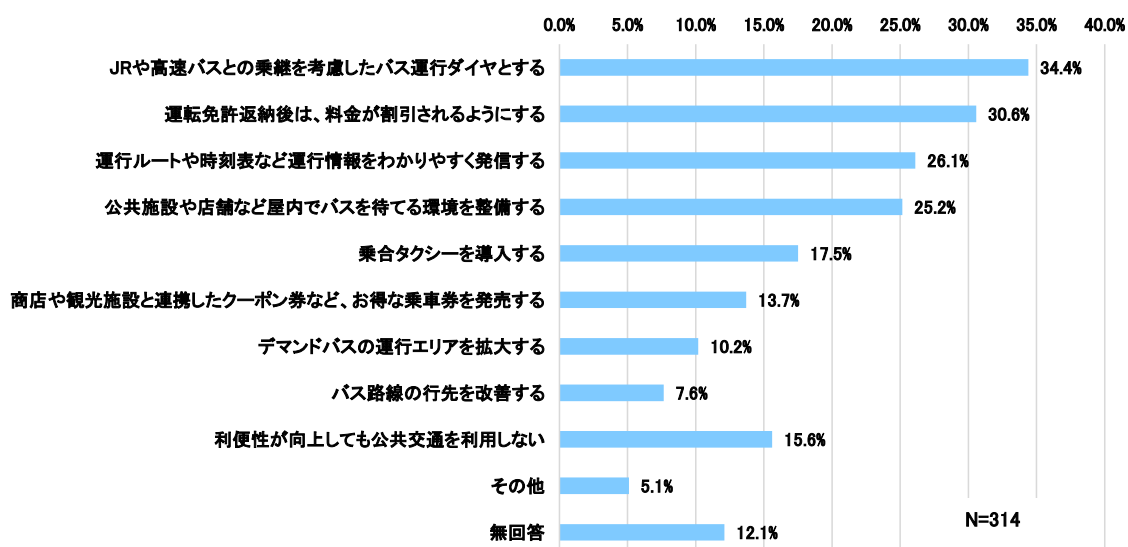
(4) 取組・改善（複数回答可）

取組・改善については、「JR や高速バスとの乗継を考慮したバス運行ダイヤとする」が 34.4%と最も多く、次いで「運転免許返納後は、料金が割引されるようにする」30.6%、「運行ルートや時刻表など運行情報をわかりやすく発信する」26.1%となっています。

図表 36 バスを利用したくなるような取組や改善

設 問	回答数	選択率
JR や高速バスとの乗継を考慮したバス運行ダイヤとする	108	34.4%
運転免許返納後は、料金が割引されるようにする	96	30.6%
運行ルートや時刻表など運行情報をわかりやすく発信する	82	26.1%
公共施設や店舗など屋内でバスを待てる環境を整備する	79	25.2%
乗合タクシーを導入する	55	17.5%
商店や観光施設と連携したクーポン券など、お得な乗車券を発売する	43	13.7%
デマンドバスの運行エリアを拡大する	32	10.2%
バス路線の行先を改善する	24	7.6%
利便性が向上しても公共交通を利用しない	49	15.6%
その他※	16	5.1%
無回答	38	12.1%
サンプル数	314	—

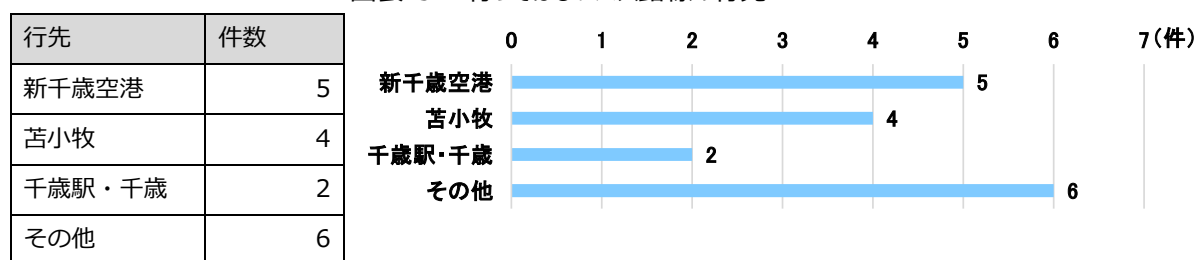
※その他では、本数の増加（7件）、バス停の集約化、道南バスにおける座席指定の導入、乗務員の態度の改善、わからない、Uber タクシー導入、自動運転バスの導入、IC カードの導入、利用者への利用方法の周知を行う、といった意見



【行ってほしいバス路線の行先】

行ってほしいバス路線の行先としては、「新千歳空港」が最も多く5件、次いで「苫小牧」が4件となりました。

図表 37 行ってほしいバス路線の行先



※その他としては、高校や病院、南千歳駅、穂別キャンプ場、北広島駅、沼ノ端駅、札幌

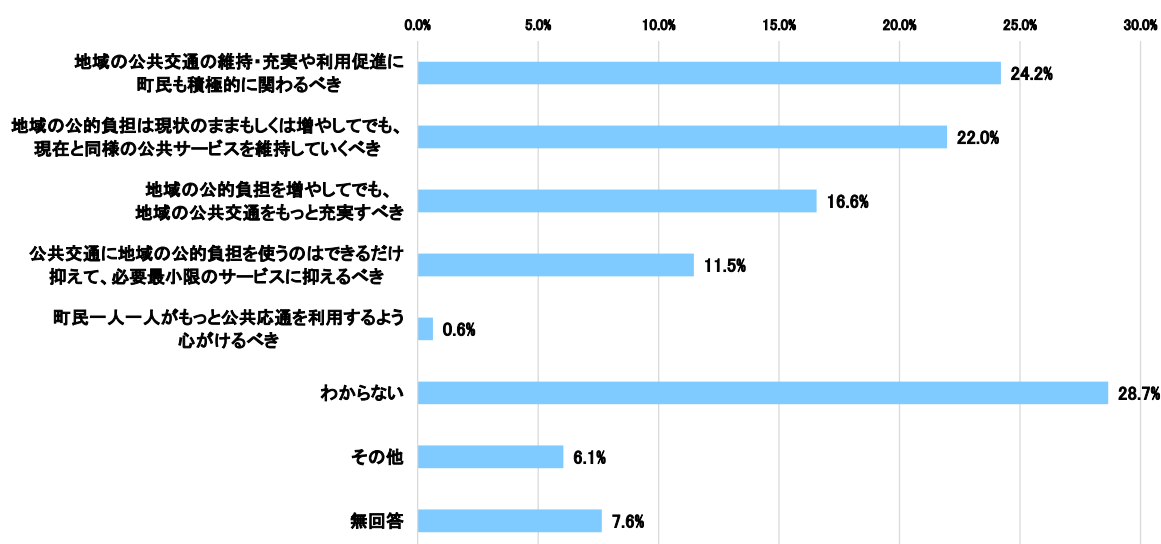
(5)「むかわ町の公共交通」に対する考え（複数回答可）

「むかわ町の公共交通」に対する考えについては、「わからない」が 28.7%と最も多く、次いで「地域の公共交通の維持・充実や利用促進に町民も積極的に関わるべき」が 24.2%、「地域の公的負担は現状のままもしくは増やしてでも、現在と同様の公共サービスを維持していくべき」が 22.0%となっています。

図表 38 「むかわ町の公共交通」に対する考え

設 問	回答数	選択率
地域の公共交通の維持・充実や利用促進に町民も積極的に関わるべき	76	24.2%
地域の公的負担は現状のままもしくは増やしてでも、 現在と同様の公共サービスを維持していくべき	69	22.0%
地域の公的負担を増やしてでも、地域の公共交通をもっと充実すべき	52	16.6%
公共交通に地域の公的負担を使うのはできるだけ抑えて、 必要最小限のサービスに抑えるべき	36	11.5%
町民一人一人がもっと公共交通を利用するよう心がけるべき	2	0.6%
わからない	90	28.7%
その他※	19	6.1%
無回答	24	7.6%
サンプル数	314	—

※その他では、車両の小型化（3件）、自動運転技術の導入（3件）、タクシーの導入（3件）、他の予算を削り公共交通を充実させる、民間事業者との連携を行う、利用者数により本数を調整する、といった意見



2－4．むかわ町の教育・子育ての評価

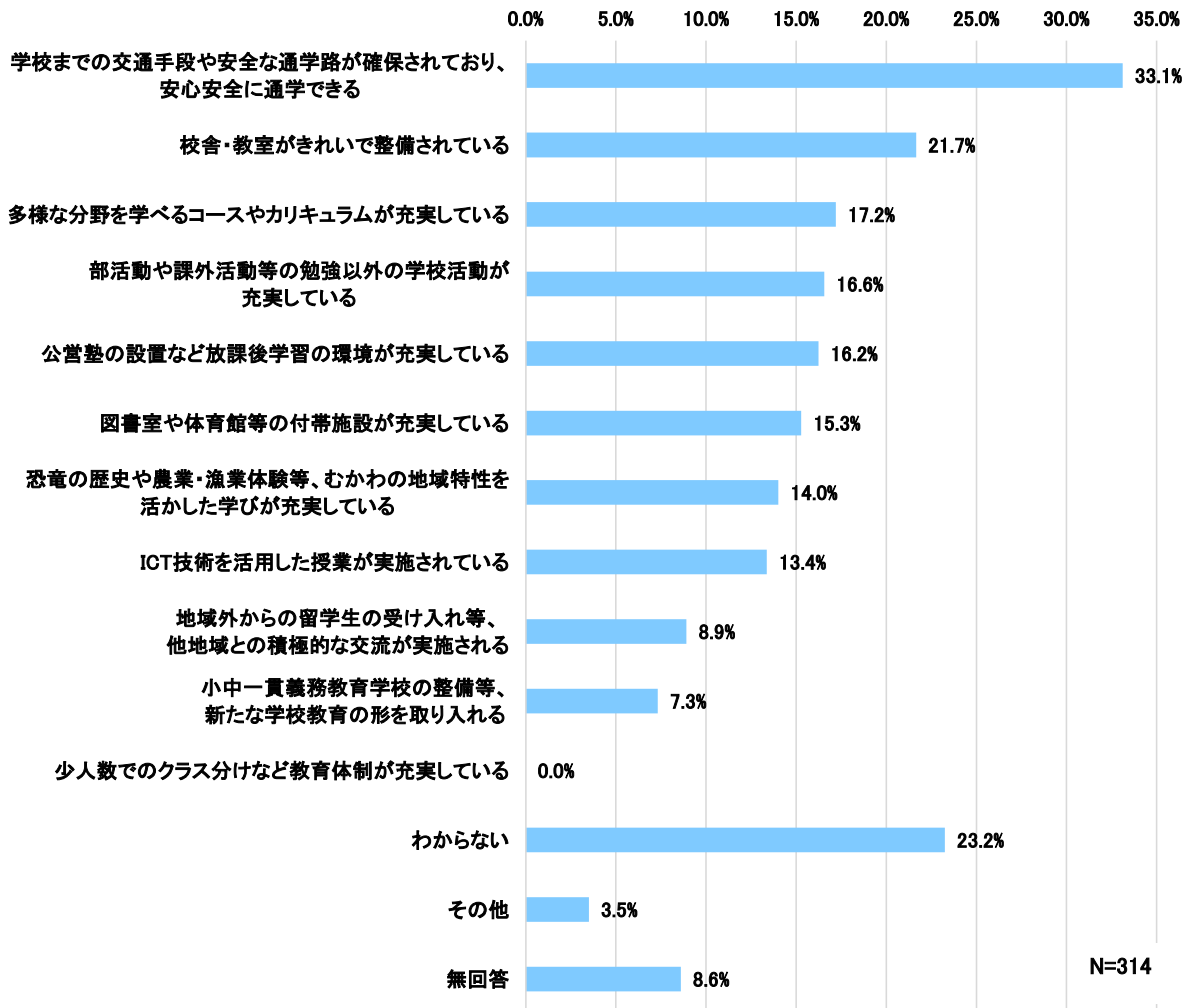
(1) 学校教育において特に重要だと思うこと（3つまで複数回答可）

学校教育については、「学校までの交通手段や安全な通学路が確保されており、安心安全に通学できる」が33.1%と最も多く、次いで「校舎・教室がきれいで整備されている」21.7%、「多様な分野を学べるコースやカリキュラムが充実している」17.2%となっています。

図表 39 学校教育において特に重要だと思うこと

設 問	回答数	選択率
学校までの交通手段や安全な通学路が確保されており、安心安全に通学できる	104	33.1%
校舎・教室がきれいで整備されている	68	21.7%
多様な分野を学べるコースやカリキュラムが充実している	54	17.2%
部活動や課外活動等の勉強以外の学校活動が充実している	52	16.6%
公営塾の設置など放課後学習の環境が充実している	51	16.2%
図書室や体育館等の付帯施設が充実している	48	15.3%
恐竜の歴史や農業・漁業体験等、むかわの地域特性を活かした学びが充実している	44	14.0%
ICT 技術を活用した授業が実施されている	42	13.4%
地域外からの留学生の受け入れ等、他地域との積極的な交流が実施される	28	8.9%
小中一貫義務教育学校の整備等、新たな学校教育の形を取り入れる	23	7.3%
少人数でのクラス分けなど教育体制が充実している	0	0.0%
わからない	73	23.2%
その他※	11	3.5%
無回答	27	8.6%
サンプル数	314	—

※その他では、通いやすい雰囲気づくり、家庭学習の内容の充実、教育レベルの向上（2件）、進学サポートの充実、経済分野の教育の充実、といった意見



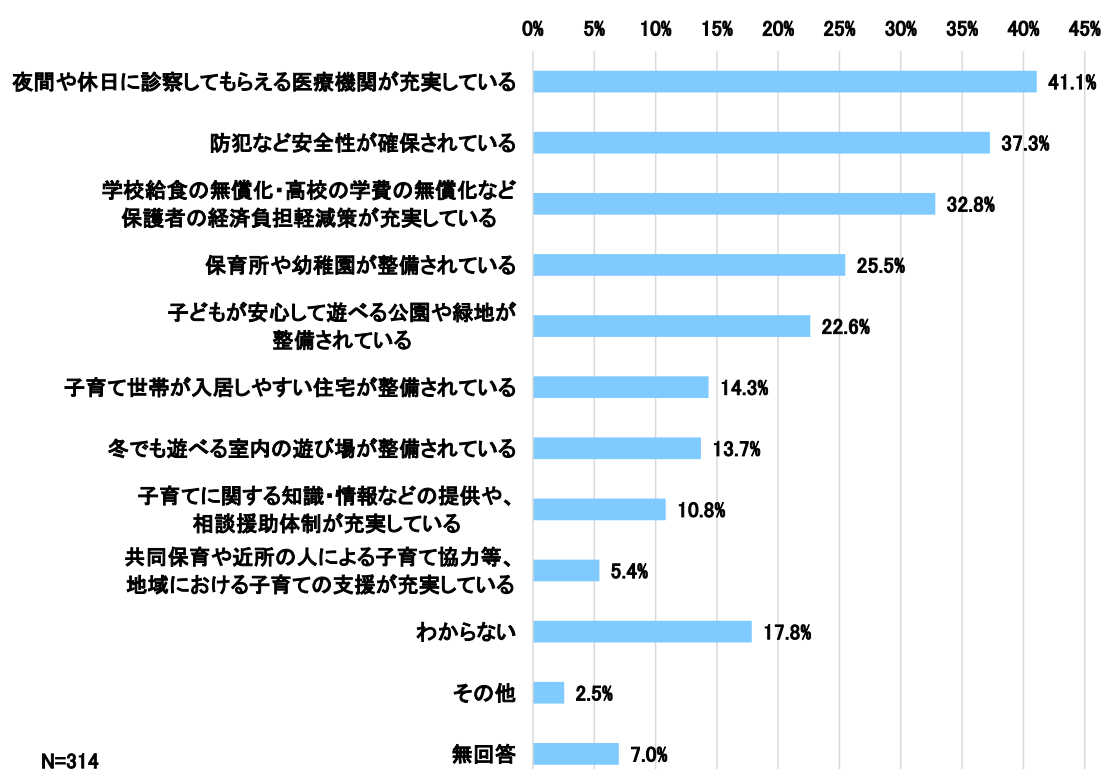
(2) 子供を育てていく上で特に重要だと思う生活環境（3つまで複数回答可）

子供を育てていく上で特に重要だと思う生活環境については、「夜間や休日に診察してもらえる医療機関が充実している」が41.1%と最も多く、次いで「防犯など安全性が確保されている」37.3%、「学校給食の無償化・高校の学費の無償化など保護者の経済負担軽減策が充実している」32.8%となっています。

図表 40 子供を育てていく上で特に重要だと思う生活環境

設 問	回答数	選択率
夜間や休日に診察してもらえる医療機関が充実している	129	41.1%
防犯など安全性が確保されている	117	37.3%
学校給食の無償化・高校の学費の無償化など保護者の経済負担軽減策が充実している	103	32.8%
保育所や幼稚園が整備されている	80	25.5%
子どもが安心して遊べる公園や緑地が整備されている	71	22.6%
冬でも遊べる室内の遊び場が整備されている	43	13.7%
子育てに関する知識・情報などの提供や、相談援助体制が充実している	34	10.8%
共同保育や近所の人による子育て協力等、地域における子育ての支援が充実している	17	5.4%
わからない	56	17.8%
その他	8	2.5%
無回答	22	7.0%
サンプル数	314	—

※その他では、自由に使える公園、親の収入面、小児科の充実、病児保育の充実、全て、といった意見



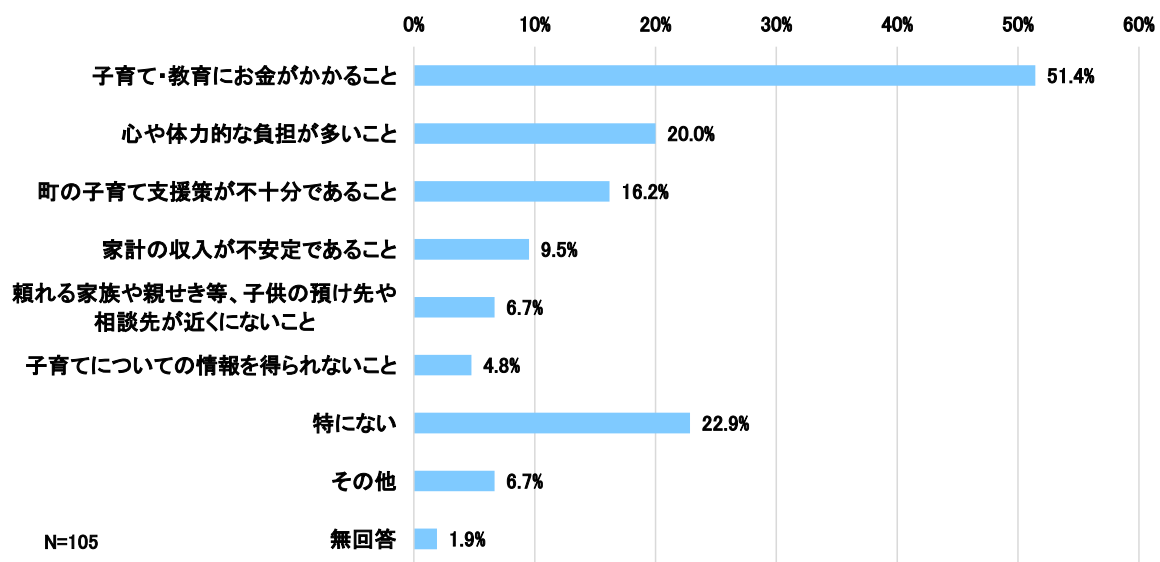
(3) 子育てで不安・不満に感じている点（複数回答可。18歳以下の子どもがいる人のみ回答）

子育てで不安・不満に感じている点については、「子育て・教育にお金がかかること」が51.4%と最も多く、次いで「心や体力的な負担が多いこと」20.0%、「町の子育て支援策が不十分であること」16.2%となっています。

図表 40 子育てで不安・不満に感じている点

設 問	回答数	割合
子育て・教育にお金がかかること	54	51.4%
心や体力的な負担が多いこと	21	20.0%
町の子育て支援策が不十分であること	17	16.2%
家計の収入が不安定であること	10	9.5%
頼れる家族や親せき等、子供の預け先や相談先が近くにないこと	7	6.7%
子育てについての情報を得られないこと	5	4.8%
特にない	24	22.9%
その他	7	6.7%
無回答	2	1.9%
サンプル数	105	—

※その他では、高校からの進路（通いづらい）、保育環境の質の低下、穂別地区に小児科がないこと、就職時に町内に戻ってくるための支援、といった意見



2-5. むかわ町のまちづくりについて

各地区の居住者から以下のような意見が寄せられました。（原文まま掲載）

(1) 鷗川地区居住者からの意見

年代	性別	意見内容
15～19歳	男性	中高一貫教育をやめるべき 鷗川高校に行くことで将来の選択肢を狭めることになることになってしまう。鷗川高校で進学するといっても指定校推薦などであり、就職するといってもあまり良い企業にも行けないため、そのことを中学三年生の受験生にちゃんと説明するべきだと思う。具体的にどんな大学やどの企業に行っているのかなど
15～19歳	男性	・病院や金融機関を隔週でいいので土日営業したり、受付時間を長くしてほしい。・住民票などの書類の申請や予約を LINE 等のできるようにしてほしい。・遠方からの通勤にも対応できるような下宿や寮を設置してほしい。
15～19歳	女性	・知育特有の魅力を見つけ出し、最大限に活かすこと。・人や金銭の流出を食い止めるために、そして環境問題、持続可能な地域を構築するために、町民と役場の意見交換の場を増やすことが必要だと思う。・むかわ学の活用。
15～19歳	女性	電車の本数を増やしてほしい。
20代	女性	イベント時に町長が町内の人よりも町外の人を大切にしていると感じる場面があった。トップに立つ人は町内で頑張る人に対して関心を持ち、応援する姿勢を見せるべきだと思う。また、中高一貫教育をもっと町が主導で行うべき。
20代	男性	スーパーや飲食店がもう少し充実するとより良い街になると考えます。
20代	女性	関係ないかもしれませんが、JR で Suica が使えないのがすごく不便です…。駅が近くにあるのはすごく便利でありがたいです。夏に引っ越してきたばかりですが、住みやすい町だと思っています。
20代	女性	・飲食店や交流施設など、町民が集える場所をもと増やせるといいと思います。町民はもっと頻繁に集まって、あーだこーだと話をしたいのではないかと個人的には思います。 ・院外薬局が欲しいです。ツルハにでも作れないでしょうか。薬剤師がいない問題はあると思いますが…。厚生病院の薬局で院外処方箋 OK にしてくれても助かります。 ・全体的に情報発信に力をいれていただきたいです。過去の情報はあっても、今の情報が無いので困ることがあります。 ・宿泊施設は絶対必要です。
20代	男性	国民健康保険税納税通知書に記載されている QR コードが途中で途切れており、読み込みできなかったので修正してほしい。千歳にラピダスができるので、その周辺の町の人口も増加するかもしれないので、企業誘致を行い、むかわ町でも雇用を生み出せるようにする。他県でも行っているような減税を行い、消費を活性化させる。

20代	女性	四季の館を中心とした町づくり。胃炎とはその日だけしか町外から来ない。1年を通して来朝者が来て楽しめる施設づくり。道の駅としてもっと規模を大きくする。他市町村を参考に。
20代	女性	町のイベント（ビーチバレー大会や大人ムーブなど）の時に保育士が子供を預かってくれるサービスが欲しい。（夜間や休日でも）
20代	女性	・残念ながら遅くまでやっている飲食店が少ない、ではなく全くなく不便。コンビニご飯しかない…。・お買い物する所が全然ない。・老後に住みたい町です。まだ自分には…申し訳ないです。一つ喜べることは、温泉が自慢です。父親が喜んでいたことです。思い出をありがとうございます。
30代	女性	防災対策についてむかわ町はまだまだ関係機関との連携が不足していると思います。私は病院勤務ですが、町との防災対策について医療機関や消防、警察との関係が希薄だと思いますし、防災に対しての計画が薄いと思います。すぐそばまで来ている津波対策やその他の防災対策が町民目線からして全然情報共有ができていないと思います。感染対策も含め上の人だけではなくもっとわかりやすく会議や講演習会などを町民がもっと参加できるようもっと開くべきと思います。実際に被災したからこそもっと真剣にもっとスピーディーに取り組み町民に提示して欲しいです。BCPも役場関係だけではなく共有した方がいいし、会議も参加できるように巻き込んだ方がいいと思います。現時点では消防が津波が10m来た時に対応できるかもしれない建物に移転したとしかわからないと思うのが現実です。被災して、町民がどんなことに困って現在までにどう対処しているとか、明示して欲しいです。このままではむかわ町に住み続けるのは不安です。感染対策も、町に専門や認定の看護師の設置や育成に手助けをして町に専門知識を外部ではなく住んでいる視点でBCPなどに取り組む必要があると思います。不安を煽るわけではなくちゃんとした知識のある人が町民教育を継続的に行う必要があると思います。
30代	男性	「町民ファースト」の視点を忘れないでほしい。むかわ町民の血税がむかわ町民にしっかり社会的に還元されるような政策視点を忘れないでほしい。恐竜機運や町外企業や機関との連携に頼ってばかりで、町民に還元されている実感が全くない今にウンザリしており、町民の視点、気持ちに寄り添っているようには思えない。
30代	女性	・むかわ厚生病院の小児科が月曜日と木曜日しかないのは不便に感じる。・小、中学校への通学が安全で親が安心できるようにして欲しい。・給食にお金をかけて、子どもたちに質の良いものを食べさせて欲しい。・町職員を大事に、無理をさせない働き方をお願いします。
30代	女性	・歩道の整備をしてほしい。でこぼこが多く、歩きにくい道が多々ある。通学路で使われている所や町外から来る人が使う道に関しては早急に直してほしい。・自転車専用道路を作してほしい。お年寄りや子供が車道の真ん中を走っていることが多い。車がきて寄せた時にバランスを崩して転ぶ場面に何回か遭遇して事故の危険性がある。・スーパーを増やしてほしい。食料品の買い物する場所が減り、売り切れ等でほしいものが買えない時が増えた。・フリースクール等の環境整備。学校へ行きたくてもい

		けない子供へのフォローを増やしてほしい。近隣のフリースクールはそこに住んでいる人が対象の所が多く、むかわ町では学校に行けない＝家から出られない環境になっている。不登校や行き渋りへの偏見や理解が得られないことが多く、身内にも助けを求められないのでお互い行き場のない気持ちになり、親子で心が折れてしまう。また保護者への相談環境もそこで出来ればありがたいです。
30代	男性	恐竜は他の市町村でもウリにしているところもありますし、ししゃもも不安定でシーズンに限られています。新たな町の目玉や特産品の開発、シーズンイベントの実施等のブランディングが必要ではないでしょうか。こちら具体的な数字はわかりませんが、キャンピングカーの方もあまりお金を落としているように思えていません。
30代	男性	恐竜にばかり力を入れない。恐竜じゃ町を再生できない。
30代	男性	もっと飲食店・居酒屋等が増えてほしい
30代	女性	◎子育てしやすいまちづくり。・既存の学校教育の維持というよりも田舎だから自然の多い、のびのび子供が学べるというようなことをウリにした学校教育に振り切ってもらいたい（長沼にある『まおいの学びのさと小学校』のような）◎また来々となるようなまちづくり・スケート場に21～35cm（あるのか？）の大人用と子供用のスケート靴を置いてほしい。1～2回滑ってみるのにわざわざ買う人がいないのと、行っても靴がないので2度と行かない。もったいないと思う。・むかわ駅近くに店を建てるための土地や建物があるべき。駅はその街の顔である。せっかく来ても何もなく、目玉スポットである四季の館までが微妙に遠い。週に1～3回でもいいので、スポット的に飲食物売って欲しい。それか自動販売機を置いてほしい。・夏場だけレンタル自転車置いて四季の館まで行きやすくしてほしい。・中～高生が遊べる所が少ない。むかわにないお店を積極的に誘致するよう、むかわのサイトに募集店（カラオケ？カフェ？）を載せてみるなど…。・恐竜まんじゅう（おのでら）は美味しくて、見た目もかわいいで、ししゃもが不漁の今、もっと町として押していってみたいかどうか？・宿泊施設が四季の館しかないの、むかわの空き家を利用して民泊→四季の館温泉無料 or 割引券を渡してはどうか？宿泊施設が少ないと、素通りするかキャンピングカーでしか泊まれない。・平日、四季の館で車中泊する方には1人につき2,000円のむかわ金券を渡す（1,000円でもいいかも）。お風呂でもよし、飲食店で利用するもよし。むかわ穂別足湯→むかわ車中泊の流れを作る。・穂別の足湯の横に宿泊施設を置く。はやりのコンテナハウスで、冬に設備代がかかるのであれば夏のみ行う。・売り上げがどうかかわからないが、四季の館の売店にモノがありすぎて、何を1番売り出したいかわからない。食物連鎖ぬいぐるみは売れると思う。適当に書いてすみません。
30代	女性	恐竜に熱心になるのを止めてもらって、子供たちの学力向上のための取り組みや、子供達が車やバスで行きたくなる公園を作った方が良かったと思います。憩いの場を作ることができる色々なイベントが出来ます！
30代	女性	恐竜ばかりにお金をかけてますが、それ以外にお金をかけて直す場所や増やさなきゃならないものがあると思いませんか？穂別の山の中に新しく何か建てるそうですが、町民はちゃんと納得してるのでしょうか？町外の方がリピートしてくれる保証はどこにあります

		か？新しくアパートばかり建っていますが、古い団地に入居している方々などへオール電化でなくても家賃を低く設定できる建物はできないのでしょうか？
30代	無回答	この町の病院、学校の先生は態度悪すぎて、不安しかない。役場を利用する時も、何処に行けば良いか解らない時がある。学校給食も昼なのに量が少なく感じる。町が負担すべきなのに、町民に負担させようとするアンケートが怖い。このままだと町民はどんどん減ります。何に力を入れていきたいのか分かりません。むかわ竜はシンボルで良いと思います。でもその金は町民のお金ですよ。無駄遣いしないで、町民に使ってください。この町に生まれた時から不満しかありません。子供に対しての支援も他の町に比べると遅すぎます。お年寄りが大事なのわかりますが、子供達が安心して住める町づくりが一番大事だと思います。
30代	男性	苫小牧や富川のように店舗が充実してほしい。（携帯ショップ、家電、ファーストフード、コンビニ、アパレルショップ、レジャー施設など）
30代	女性	企業誘致していますか？このままでは消滅自治体になりますよ。
40代	女性	小児科の診察日が週に2日しかないのが不便。
40代	男性	小児科の病院を作って欲しい。厚生病院では対応してもらえない事が多く苫小牧まで行かなければならない。
40代	男性	・市街地でも街灯が少ないところがあり安全、防犯上不安がある。・車社会だから仕方ないにしても、中央通りの歩道がでこぼこで歩きにくく、高齢者のけがにつながる。・ドッグランを作って欲しい。
40代	女性	こどもセンターを月の利用ではなく、一回ずつ料金を払って利用できるようにして欲しい。それが無理なら、親が迎えに行くまで子供の待機場所を作ってもらいたい！
40代	男性	犯罪、またはそれに準じる行為、コンプライアンスに違反する行為、弱い者イジメが横行しており、それを地元の人同士が隠蔽し合う風潮があります。だから町が良くなることは無いと思います。もう、何も期待しません。それなりに、自治体として行政サービスをしてくれれば、それで良いです。
40代	男性	図書館の拡大・充実、運動部活動の地域移行のスピードアップ及び指導者の確保（その時間の給与の補償!?!）。特に野球に関して、高校野球部が頑張っているのにも関わらず、小学校・中学校の選手の強化育成がなされていない。
40代	女性	老後も安心して暮らしていけるようなサービスやまちづくり。町外、道内からの移住者が増えていくような体制を整える。町民が増えていく町になるよう期待しています。
40代	女性	・むかわ町ホームページの改善。情報が見えにくい。・自動運転バスの導入やテストを行い、企業とのパートナーシップを形成した方が良い。
40代	男性	・恐竜に関する施設を、交通の利便性のより良いむかわ地区に建設した方が良いのでは!!・小さな公園ではなく、大きな公園を作り、駐車場も作ってほしい!!・高校生、大学生のいる家庭への経済的負担の軽減を考えてほしい!!
40代	男性	愛が感じられる町（街）

40代	女性	恐竜を優先しすぎているように思います。四季の館の運営にも力を入れてほしいです。超高齢者の運転をやめてもらえるシステムを考えてほしいです。子どもを安心して歩かせられません。
50代	男性	むかわの自然を大切にする活動と、むかわに住む方々の本当の健康を守る生き方が大切だと思います。一人一人の人が大人から子どもまで、思いやりを持って繋がれるむかわ町であってほしいと願います。
50代	女性	厚生病院から早朝・夜間に出てきてタバコを吸う男性がいる。枯葉があるところにタバコをポイ捨てしていく。やめてほしい。役場の人だと思う。
50代	男性	夫婦で社会保険に加入しており、それなりに税金を払っているのですが、何もメリットがない。厚真町等は、色々と優遇措置があるが、むかわ町には何も（ほとんど）ない。
50代	女性	町の中心から遠いため、車がなければどこにも行けない。高齢になり車の運転ができなくなった時にバスの本数が少なく、タクシーも高額になってしまうことが心配。バスの本数がもっと増やせないかと思います。（運転手不足の問題があるでしょうが…）買い物はむかわに行くより富川の方が店も充実しているため、多少遠くても行ってしまふ。スーパーがもう少し増えても良さそう。ただ人口から考えると無理だと思うが、1つしかないスーパーに行くレジがいつも混んでいるため、行きたくなくなってしまいます。
50代	女性	厚生病院の質の悪さ。穂別診療所を見習って欲しい。医療体制が悪すぎだと思います。
50代	男性	食の安心・安全と題して土づくりから野菜作り、料理について深く学べるサークル・ネットワークが欲しいです。SDGsについての学びなども、これから生きる為に必要と感じております。
50代	女性	家族が介護保険を利用しているが、もっと各ケアマネや居宅サービス事業所の管理を厳しくしてほしい。保険料が正しく使われていない。特定の利用者だけにひいきがすごい。デイサービスに行っているが、利用者からプレゼント等を受け取っている。
50代	女性	リモートワーク企業の誘致を促進する。リモートワーク企業に対して税制優遇や補助金を出して、むかわ町の雇用の促進につなげたい。教育と医療体制を充実させたい。特に医療については個人のクリニックを優遇して、子供の医療に対して手厚いサポートを行えるようにしたい。穂別高校を公のフリースクールとして活用できないか。
60代	男性	ふるさと納税 充実による財源確保により 子育て世代への支援 や 高齢者への優しいまちづくりをしてほしい
60代	男性	交流人口や町外の人目線も大事だけど、地元の人が住み続けたいと思うような満足度が高くなるような調査を徹底的に行い、バラマキでなく、身の丈にあった着実な一歩を進めてほしい
60代	女性	空き家が多く安全面が気になります。放置されたままの住居解体の助成があれば良いと思います。町並みに統一感がほしいです。徹底して不便な暮らしを楽しむ田舎暮らしも良いと思います。恐竜学部を設けた大学が誕生しましたが、高校からあっても良いかと思います。

60代	女性	まちづくりではないのかもしれませんが、四季の館の温泉の年間パスポート（高齢者向けの低額なもの）を発行して欲しい
60代	女性	・できるだけ早期にフリースクールの開設を希望します。同じ職場のパートさんの子どもが学校に行けないため、仕事に出てこれなくて困ります。・穂別にキャンプ場がありますが、むかわ町にもあると良いです。
60代	女性	恐竜では町おこしは無理だと思う。私たちの税金を生きてい人間に役立つ使い方をしてほしい！津波がきても町民が避難できる場所を作してほしい。町民が生き残れなければ、むかわ町は消滅してしまいますよ。
60代	男性	インフラ（道路の整備）、災害時（地震・津波）時の避難所の整備。
60代	男性	高齢者が多く、年々人口も減少し、あと10年後にはどうなっているのか?!若い子育て世代も働く場所がないと出て行く一方ですね。穂別地区なんてスーパーもなく、恐竜にばかりお金をかけても、そんなに経済効果があるとは思えません。もっと町民が困らない町づくりをしなければ、どんどん過疎化していくと思います。
60代	女性	体育館裏の歩道、カラスのフンで汚れがひどい。スクールゾーンになっており、中学生の通学路となっているのだから何か対処して欲しい。むかわの森に飛んでくるカラスの駆除をできないものか…？夕方になると、まるで養鶏場のようなにおいがする。鳥インフル対策をして町で何か対処できないものでしょうか？（例えば枝木の剪定をするなど）鳥インフル、野鳥の飛来で拡散しているという情報もあるのだから…。
60代	女性	空き家や、お店（さんと小路）がなくなり、淋しい感じになってきました。空き家はこれから増えてくると思いますが、これを町で…となると町民に負担がかかってくると思うので難しいですね。少し助成金があるとか業者 etc を町報などで紹介するとやりやすいと思います。
60代	女性	子どもが遊べる場所がない！
70代以上	女性	高齢化が進んできているので、気軽に集まれる場所があっても良いと思います。
70代以上	女性	むかわ町も高齢者の比率が高くなっていくと思うので「高齢者の住み良い町」で名前を売っていったらいいかも。
70代以上	女性	別になし。（期待もできないので）
70代以上	女性	提案ですが、むかわ町として四季の館周りのものとして整備し、ひと固まりとして小さく楽しめるキャンプ場など、周辺の方などが楽しんできるところを作り上げてほしいです。どこの街にも何かひとつはあると思いますが。前はたんぼ公園がありました。
70代以上	男性	それぞれの年代により求めているものが違うので、アンケートだけでは不十分のような気がします。少子高齢化の時代、まちづくりは何処に支店を置くかにより違ってくると思います。大切なのは働く場所があり、住居があり、安心安全なまちづくり。人と人がふれあい、温かい心を持ち、助け合えるまちがいいと思います。『こんなまちはいやだ』の反対が良い町づくりだと思います。いろんなことをアンケートばかりではなく、町内会や各団体の小単位で、何を望んでいるかを直接聞くことが大切ではないでしょうか。コロナ

		で人と人との関係が希薄になり残念ですが、元気な町民もたくさんいます。幸福と感じられるような人間がたくさんいるまちがすばらしい。いくら施設などが充実しても町民が不満だらけでは良いまちとはいえません。五感を大切に、豊かさが感じらるまちをみんなで作っていきましょう。
70代以上	男性	福祉に力を入れてくれ。入居できる施設を。なぜ町外に出ないと入居できないのか。もっともっと力を入れてくれ。
70代以上	女性	いつも思うのですが、街の中心街がとても寂しくなり、商店なり、もっと憩いの場所があればと思います。
70代以上	女性	むかわ町の人口減少が気になります。若い人達が子育てをしやすい環境を作り、人口が増えている地域を参考にして、思い切った政策を出してほしいと思います。
70代以上	女性	高齢者です。住みなれたむかわ町に住み続けるため、医療・福祉施設の充実を希望します。特別養護施設は町内に2か所も必要ないです。慶寿苑は、津波が来たら大丈夫ですか？
70代以上	女性	2030年度までには人口年齢比率もかなり変化していくと思っています。小さな町だからこそ町民全体に行き届いたことができるのでは。鶴川地域と穂別地域、両方に病院がある自治体は少ないと思います。信頼できる医師がいて、適切なアドバイスで安心できる町。特に大きな企業が無くても、子育てと高齢者に優しいというだけでも住みたい町になるのではと思います。
70代以上	男性	①恐竜関係に力を入れるより、市街地の車道、歩道等の整備補修を。(少し歩いて確認せよ…かなり凸凹がある) ②公共施設の維持管理の充実を。(特に建物) ③今後は特にインフラ整備に力を入れてほしい。④恐竜館については地域体験館の二の舞にならぬ様、特に注意する必要がある。以上。
70代以上	男性	働く場所の確保、町民を多くする様なまちづくり。
70代以上	男性	これがまちづくりになるかどうかかわからないが、むかわのまちのシンボル、むかわ橋を残してほしいな。
70代以上	女性	「消滅可能性都市」のパーセントが高いむかわ町です。今することはむだなお金を使わない事。恐竜博物館はむだです。博物館は展示物をどんどん入れ替えないとお客さんは来ません。東京の国立博物館ですら「クラウドファンディング」をしてお金を集めています。お金をたくさん使って建てても続きません。イベント時にお客さんが多くてもだめです。何人もの観光客が穂別の博物館が遠いと言ってあきらめています。本当に無駄なお金を使わず、若い人達が住みたいと思える町にしたらどうでしょうか。

(2) 穂別地区居住者からの意見

年代	性別	意見内容
15～19歳	男性	鵜川と分離、または改名した方がいいと思います。鵜川の特産品なんてししゃもとレタスしかないくせして、穂別のを「むかわ町」のものとするやり方が気に入らないです。また、恐竜ワールド戦略室の方針も変えた方がいいと思います。穂別博物館には国内の6割を占めるウミガメ化石や新族新種の化石などがあるので、むかわ竜だけに頼るのではなくそれらも活用するべきだと思います。
20代	男性	道道の整備や町道の整備を進めてほしい。(道路幅拡張など) インフラの整備にもっと前向きに検討すべき(バスの小型化や相乗りタクシーなど) 恐竜の事をもっとSNSなどで発信して町内発展に繋げて行く必要がある 穂別スキー場についてリフトの変更(廃業したスキー場からリフトを買取などを検討)や町内在住の方は1日500円 町外1000円などの少額の金額を取っても良いと考える
20代	男性	・鵜川地区から穂別地区までの道路状況が悪いのでなおしてもらいたい。・穂別地区で勤務している職員に僻地手当を出すべきだと思う。・むかわ町職員として働いている職員は地区に関係なく自由に住みたい地区に住んでもいいのか？
20代	男性	穂別高校の今後の活用について、恐竜に関連させた再利用を望みます。(室内の遊び場)
20代	男性	私はインドネシア人です。穂別に住んでいるので、バスがもっと増えるといいです。夜に買い物から帰る時、穂別行きのバスがありません。それが私の不安です。
30代	男性	・大型スーパー、ドラッグストアがほしい。・飲食店(食堂や居酒屋)が欲しい。新規で開業をサポートする補助金などを町でサポートするなど。・苫小牧市までのバスがあるとうれしい(予約制でもいい)・バスは最小限にしてタクシーを増やしたら良い。
40代	女性	穂別高校の募集停止になり むかわ高校に通う人が増えると思うのでスクールバスを出してほしい。バスが出ればむかわ高校に進学する子も増えると思う
40代	女性	全てにおいて本町地区優先ではなく、穂別地区の見直しもしてほしい。
40代	男性	町から出ていく若者が増加する一方、戻ってきて町内の産業に貢献する人が少ない印象。それらの人々に対する働きかけに加えて、移住者を積極的に募集しなければ、今以上に財政等の面で負担が増加するだけだと考える。例えば、道内の他の町のように、住宅地は無料にして建物の金額だけで一軒家を持つことができ、あとは税金を町に納め続けるといったシステムをうまく活用して、移住者を増やす案も検討するといったように感じる。鵜川地区と穂別地区のバランスの悪さも感じる。人口比でいっても穂別の分は悪いが、それ以上に穂別地区はあらゆる面で後回しにされていると感じるので、きっと、穂別地区に居住する他の人も同じように感じる場面があると思う。
40代		高校に行くには「家から出す」という決断が必要な場所に住んでいる人もたくさんいます。そんな家庭に、何か(家から出す事にも安心できるような事)考えてほしいです。出さずに行ける方法とか。下宿の援助など。
40代	男性	街路樹を切ってほしい
40代	女性	冬に運動できる暖かい施設があるとうれしいです。(穂別地区)

50代	男性	まちづくり、難しいですね。本当に博物館がいるのでしょうか？こんな人口の少ない町に贅沢な施設です。
50代	女性	穂別もむかわ町です。あと2年ですが穂別高校を大切に考えて下さい。
60代	男性	地域の先行きが見通せない中、不安感だけが増えています。都市部との新たな関係性の構築を検討すべきだと思います。（例）デュアルライフ希望者の受け入れや都市部の特養待機者への積極的な売込みへの行政の関わり等、ターゲットを明確にした取り組み
60代	男性	問19の設問は 独身者 既婚者 子供いるいない関係なく聞くべきだったと思う 穂別で子供が生まれ育てる時 保育園の環境 町内 町外の高校通学 下宿費など親の経済負担が鶴川地区に くらべ大きい 商店も減り 農家の後継者も少なく 働く所も限られその中でも穂別で子育てをする親に 安心して保育が受けられる環境 子供に負担のかからない通学 親の家計に負担ならない高校通学方法を考えて頂きたい 穂別の保育園問題について 議会ライブ配信を見ても穂別の町議さん 町長は業者の為に質疑 答弁をしている様に見えます 園は社会福祉事業者であろうと 無かろうと 弱者である保護者に寄り添った 園の考え 説明を議会 町は求めるべきではないか
60代	女性	家賃をなくす。空いている家を町がリフォームして入れるようにすれば、若者も入るからいいのではないかな。
60代	女性	・商店が存続できる対応をしてほしい。・移動購買車は、今、2店舗で運行されています（穂別地区）。独居世帯の見守りや移動手段がない人、農家等に大変重要な働きをしています。ぜひ存続出来る対応をして下さい。・公共交通の千歳行バスは、札幌方面へ行く為には必要です。乗客が少ないので、予約制でワゴンタクシーサイズで運行し、運賃助成をし、使い易い対応が必要。免許返納後の人達の移動手段にもなります。
60代	男性	仕事のできる場所があればいいと思う。
60代	女性	もう少し穂別地区にも目を向けた行政であってほしい。
60代	女性	穂別地区の保育園を、早期に、安心して子供を預けられる施設にしてください。現状では、どのような保育がされているのか、外部の監視体制が内部まで届かなく、保育参観日もなく、出来事を話すことが出来ない幼児だからこそ、どのように幼児を扱っているのか不安です。子供が情緒不安定になっているとききました。勧告に従わない運営者に、いつまでも任せている町の方針にも不信感があります。
60代	女性	私は間もなく70歳にという年になり、80歳にもなると生活必需品や専門科受診等に不安を感じます。住みなれた町への愛着はあっても、現実には厳しさを増すように思います。
70代以上	男性	徐々に人口が減ってきていますね。（合併当時10,668人→現在7,250人。3,418人減少）合併して2027年には20年になりますが、町として何か対策を行っていたという指針が見えないのが残念である。していたというなら、町報でも良いので記載報告をしてほしい。

(3) 居住地区無回答者からの意見

年代	性別	意見内容
15～ 19歳	男性	片親家族にやさしくしてください…。
無回答	無回答	桜並木がほしい。